

## はじめに

「**正誤問題を徹底的に解明した参考書**」をめざして、この本の前身である「スーパー講義 正誤問題」を世に送り出してから二十余年の月日が流れました。正誤問題という形式で受験生の文法・語法力が問われているのに、その対策を明確に記した参考書がなかったからです。出版当初は早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学などの大学を目指す受験生から圧倒的な支持をいただきました。当時から今日にいたるまで、正誤問題を出题する大学はさらに増加し続けています。**難関私立大学**では、コンスタントに出题されていますが、**東大をはじめ国公立大学**でも、正誤問題が様々な形で出题され定番化してきています。正誤問題はさらに進化をとげ、形式が多様化していると言えるのです。

この傾向を支えているのは、**正誤問題が正確な文法・語法の知識を確認するのに最も適した形式の1つである**ということが認識されているからでしょう。これは大学入試だけにとどまらず、大学生や社会人も多く受験する TOEFL や TOEIC など実用英語能力の試験でも、正誤問題やその派生問題が出题されていることから明らかです。

「**正誤問題は苦手**」という受験生が多くいます。しかし、**正誤問題で問われている事項は、日本人の学生の理解があいまいな箇所や英作文を書くとき間違いやすい箇所、といった文法・語法での最重要事項**なのです。つまり、正誤問題を征する者は「文法・語法を征す」、さらには「間違いのない英文が書けるようになる」と言っても過言ではありません。この本によって、みなさんが、正誤問題の全体像を把握し、そこから文法・語法問題の最新情報をくみとってくだされば、本書の目標は達成されたと言えます。単なる答え合わせ的な学習に終わらず、**重要事項をコンパクトに整理した「発展」を大いに活用**することで、難関大学入試を突破し、さらには将来の資格試験にも通用する確かな文法・語法力をつけてくださるよう願ってやみません。

2012年11月

河合塾英語科 高沢節子

## この本の使い方マニュアル

この本では、大東文化大、東海大、獨協大、同志社大、早稲田大、慶應義塾大、上智大、東京大、明治学院大などの問題を精選して全部で51題収録してあります。

1.



まず、**1**～**11**で、ベーシックな知識・テクニックを身につけます。



2.



その勢いで、**12**～**35**をどんどん解いていってください。ここは、受験生の苦手な早大タイプのもの（「正しいものをおだけ選べ」型）や短文を選択するタイプなど出題形式もさまざま。**1**～**11**より、さらに実力をワンランクアップさせます。



3.



最後に、手強い慶應義塾大タイプのもの（文章まるごと正誤問題）・上智大の英訳問題も入っています。ねらいは応用力の養成と、語法問題の総仕上げです。

といった具合に、**正誤問題を解きながら、いつのまにか語法の達人になる**というプログラムになっています。

「いきなり問題が解けるかな」と言う人も、「さあやるぞ」といきりたっている人も、まずは次の15のチェックポイントで、自己採点してみてください。その結果、『かなり危ない』と出て不安を覚えたという人は、すぐに各項目の対応ページの**発展**などを参照しましょう。かわいいうさぎとともに、懇切ていねいな解説がスッキリ表にまとまっているはずですよ。

この15のチェックポイントは、この本を最後までやり終えた時、本当に正誤問題のポイントを習得できたかどうか、確認するのにもう一度使ってください。さあ、まずは第1問目の問題から果敢にチャレンジしてください。

Power is within you!

- (1) 「その少年は、泣いているうちに眠ってしまった」  
 ➔ cry oneself ~ 「泣いて～の状態になる」 cf. cry oneself asleep 「泣いているうちに寝入ってしまう」
- × (2) remember locking → remember to lock  
 「忘れずにドアに鍵をかけてね、トム」  
 ➔ remember doing は「～したことを覚えている」という意味になるので、この場合は文脈に合わない。「忘れずに～する」という意味になるよう、doing を to-不定詞に訂正すべき。

## 発展



## doing と to-不定詞で意味の変わる動詞

☑	remember doing ~	「～したのを覚えている」
	remember to do ~	「忘れずに～する」
☑	forget doing ~	「～したのを忘れる」
	forget to do ~	「～するのを忘れる」
☑	stop doing ~	「～するのをやめる」
	stop to do ~	「～するため立ち止まる」
☑	regret doing ~	「～したのを悔やむ」
	regret to do ~	「残念ながら～する」
☑	try doing ~	「試しに～してみる」
	try to do ~	「～しようと努力する」

- (3) 「あなたが明日その車を使うことにしているのかどうか知りたい」  
 ➔ if 節が「～かどうか」という間接疑問の意味を表し、動詞の目的語の節として用いられている場合、名詞節として機能しているので節内の未来形は現在形にしない。「～ならば」という意味で接続詞 if が用いられている〈条件〉の副詞節の場合と混同しないよう注意。  
 ▶ will be doing ~ 「～することになっている」



when 節と if 節内の時制には要注意		
	when 節	if 節
名詞節	「いつ〜か」 未来形 — そのまま 未来完了形 — で OK.	「〜かどうか」 未来形 — そのまま 未来完了形 — で OK.
形容詞節 (名詞を修飾)	・この when は関係副詞 未来(完了)形 — そのまま または 現在(完了)形	
副詞節	〈時〉「〜する時」 ×未来形 ⇨ ○現在形 ×未来完了形 ⇨ ○現在完了形	〈条件〉「もし〜ならば」 ×未来形 ⇨ ○現在形 ×未来完了形 ⇨ ○現在完了形
副詞節の場合 例 1. Let's go on a picnic when the rain <u>will</u> stop. × ⇨ stops. 「雨が止んだら、ピクニックに出かけようよ」 例 2. If he <u>will have read</u> the book, he will phone you. × ⇨ has read 「その本を読んでしまったら、彼は君に電話するだろう」		

**盲点** 〈人〉の意志を表す will は〈条件〉の副詞節内でも使える。

ex. If you will excuse me, I'm going for a walk.

「もしあなたが許して下さいなら、私は散歩に出たいのですが」

- (4) 「あなたはとても不満そうですね。どうしたんですか」

➔ look + 形容詞は「〜のように見える」という意味の正しい表現。形容詞ではなく名詞をとる場合には、look like + 名詞の形を用いる。

- (5) 「あなたは私の妻にはお会いになったことがないと思います」

➔ I think that ... 「…だと思う」、I don't think that ... 「…でないと思う」。think は、that 節の中を否定の形にせず、think 自体に not をつけて、don't [doesn't / didn't] think that... とするのが普通。